



volunteers 22w

こゆきちゃん（高校生）
が書いた新聞!!読んで!!

@GACHAA.A

Agriculture in Hokkaido

とっても遅くなってしまいましたが、北海道での私の体験をもっとみんなに知ってほしいと思い、このポスターを作りました！このインタビューの内容は多くの人に共有したら自分の経験だけにとどまらないのではと考えました。2022年の夏、私は北海道の白糠町の「えづらファーム」で農業の体験を14日間させていただきました。そこで「えづらファーム」の奥さんと、ご主人、そして皆さんにインタビューをさせていただき、その内容が農業への魅力が詰まっていると感じていたため、皆さんに読んでいただけたらと思います。そして私の感想や考えも！！

なぜ北海道で農業の体験をしようと思ったのか？

- 自分が実際に農業をしてみたいという思いから、食生活に農業の楽しさを伝えることが目的だった。
- またSDGsでも自然についてもっと触れたかった。
- ヨーロッパでは長期休暇に農業体験をすることが一般的と聞いて、やっぱり日本でも意識が海外と違うのかな？と思った。
- テレビでもキャベツが畑の上でたたくように見られていた。無料で人にあげても0円0円から譲れない理由もあるのかな？と思い、知りたかった。



農業体験をする前の「農業」のイメージ

家は私の農業に対するイメージは、正直に言うところ

「大変」、「若い人ではなくお年寄りの方がしている」「しんどそう」

そんなイメージでした。もしかするとこのようなイメージを持った方もいるのではないのでしょうか。

しかしこれからお話しする内容を見ていただければそのイメージは変わるに違いありません！ウーン！

実際に農業をしてみても



しんどいという体力面では感じることはあったもののやっぱり楽しかった！！という大きな感想です。私は2週間しかいなかったのに楽しかったところだけを見たのかもしれないけれど私の農業に関するイメージは大きく変わりました。私のようなボランティアの子たちと毎日畑に行ったり、畑で収穫したものを食べてご飯を作ったり、野生の動物を見たり、流れ星を空に追いかけて見たり、とにかく自然とたわむれまくりました！！また農業もやり方次第で「大変だ」と感じるか「楽しい」と感じるかがすごく変わってくるのではないかと思います。そしてあるお母さんが「農業はチーム戦」と言ってくれた言葉が忘れられません！本当にそうだと感じました。私ははじめの方全然作業に慣れることができた。私より早くからいらしたボランティアの2人がとっても作業が速くて私の倍くらいプロクッキーを刈ってくれました。その分働いた分は倍だったと思うし申し訳ない気持ちでいっぱいでした。でも私も徐々に慣れていき、私のあとに来たボランティアの方と一緒にしたときは逆に私が速く作業をすることができて、その時に「作業量が100だとしたらそれをさっさと人数分できるんじゃないかとみんな合わせて100になればいいんだな」と感じました。

規格外野菜について

みなさんは、規格外の商品が売られている。そのようなニュースを見て「それだったら、無料でみんなにあげたいじゃん！」とおもったことはありませんか？私もそう思っていました！「フードロス」を無くすために「譲ってください！」って譲ってしまいたい気持ちもわかります。

でも！！！！！！！！！！

それはもししたら農業さんたちに経済的なダメージを与えてしまっているかもしれません。

まず規格外商品とは？

重量・容量や色、形状が当該商品の標準と異なるものや、包装の不良が発生した商品等を言う。

https://www.maff.go.jp/j/isyoku/isyoku_loss/03/pdf/data2.pdf



農家さんから見た規格外商品

規格外の野菜を無料、あるいは半額などで売る。それは一見フードロスを解決するように思えます。でも規格外の商品というのは、どうもコストがかかるのです。たとえ1センチのジャガイモが10個入るとしても、そのジャガイモを運送の箱に詰めるとき、正規格品であれば10個入る箱でも形の悪い規格外商品なら10個入る箱に入れることができません。よって、規格外の商品の方がコストがかかるという事実があります。それなのに安く売られてしまうと農家さんの利益がなくなってしまう、そのようなことが起きます。

また規格外で売られている。そのような動画を見たことのある方もいるのではないのでしょうか。私もそれを見たとき、「売りたいじゃん！」と思っていました。しかしえづらさんのインタビューを通してわかったのですが、実は主に捨てることで肥料にもなるのです！！

たから不利益になるように振るのではなく、肥料にするために畑に捨てられているのです。さらに規格外商品を安く売っても安くはならない。正規商品にも影響が及ぶ。それは規格外商品が売れば正規商品を売ろうとする人が少なくなるということです。規格外の商品も、正規品と同等の価格で販売できるのならそれもいいかもしれません。

一方で形の悪いジャガイモなどは加工したり、コロッケの店に売ったりすることで規格外という問題を切り換えているそうです！

貴重な取材

農業を始めたきっかけ：

農業は家族と一緒にできる職業
→家族との絆を大切にできる



大変なこと：

- ・収入が得られない。第一次産業は北海道ではメインとなる産業だから。→正確には一歩私の中で聞いたことでした。やはり第三次産業がメインで一番大きいものだと思っていたので想像によって違うんだと知りました。

落ち着くと：

一年の収穫が終わった時

農業へのイメージの違い（前と後）：

- ・思ったより大変じゃない
- ・収入が得られる。第一次産業は北海道ではメインとなる産業だから。→正確には一歩私の中で聞いたことでした。やはり第三次産業がメインで一番大きいものだと思っていたので想像によって違うんだと知りました。
- ・農業は、ヨーロッパが昔から誇りにしていた。ヨーロッパは農業が盛んな国で、自然や文化を体験する旅行の宿、都市と農村が交流、農村地域の収入増加などに成果を上げています。
- ・そしてえづらファームのボランティアの農業などの活動は交流人口を生み出しているそう。
- ・（交流人口とは、旅行や買い物、様々な目的でその地域を訪れる人々のこと）

楽しいこと：

- ・畑と自然と触れ合える
- ・お母さんが楽しいや面白いと言ってくれる時。

楽しさと苦しさの割合は：

- ・楽しさ100苦しさ100
- 大変さがあるからこそ楽しさがあって楽しいから大変なことでもやっていく。
- 楽しいことと苦しいことは光と影のような存在だと考えてくださいました！

レストランとか飲食とかもお客さんが喜んでくれたりするのはもちろんいいし、ボランティアの子たちが来てくれるのも嬉しい。「お野菜また買いました！」。そういう言葉も嬉しい。自分がしていることを誇りに思うことができて、「おいしい」といってもらえる。それがどれくらい嬉しいことか私はそのように感じています。これだけの収穫をすることができて、その収穫を食べてくれる人がいる。それはとても嬉しいことだと思います。

Reply to ezurafarm_farmstay...